

(ご参考)

#### 東京財団政策研究所データラボ リアルタイムデータ等研究会とは

東京財団政策研究所 政策データラボでは、理論とデータに基づく質の高い政策研究の支援とともに、独自の指標・データベース等の開発・整備・提供を視野に入れた研究関連活動を実施しています。「リアルタイムデータ等研究会」はその一環です。定期的にコラム「政策データウォッチ」「政策データフラッシュ」を発信しております。

<メンバー>

小巻泰之・大阪経済大学教授

大塚芳宏・東北学院大学准教授

平田英明・法政大学教授

飯塚信夫・東京財団政策研究所政策データラボアドバイザー、神奈川大学教授

シリーズ「政策データウォッチ」

- ◇ リアルタイムデータとEBPM —小巻 泰之 2018年12月12日
- ◇ 消費税上げで再び経済は悪化するのか〜リアルタイム分析と認知ラグの影響 —小巻 泰之 2018年12月12日
- ◇ 景気後退確率を推計する〜小規模データによる景気指標の構築(上) —大塚 芳宏 2018年12月25日
- ◇ 「グローバル化の下で世界経済の連動性は高まっている」と言えるか —平田 英明 2019年1月17日
- ◇ 訪日外国人関連統計を考える〜政策目標にできる精度なのか —飯塚 信夫 2019年1月29日
- ◇ 毎月勤労統計調査問題についての経済統計メーカーの視点〜統計、複数の目で点検を —平田 英明 2019年2月19日

シリーズ「政策データフラッシュ」

- ◇ 1人当たり雇用者報酬に注目を —2019年2月20日
- ◇ 2018年12月の景気後退確率は34% —2019年2月12日
- ◇ 2018年11月の景気後退確率は13%

政策データウォッチホームページ

<https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=2993>